

教科	家庭	科目	ファッション造形基礎	単位数	3 単位	学年	3 年	コース	L健康福祉
使用教科書	ファッション造形基礎(教育図書)			使用副教材等	なし				

目標	・デザインや着用目的に応じたより高度なファッション造形について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ・ファッション造形に関する課題を発見し、ファッション製品の製作を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ・衣生活の充実向上と創造性豊かな作品の製作を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
評価の観点	知識・技能 ・被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作について理解し関連する技術が身に付いている	思考・判断・表現 ・被服の構成について考え、被服材料の選択ができる ・衣生活の充実向上と創造性豊かな作品の製作ができ表現できている	主体的に学習に取り組む態度 ・計画を立て、実施し取り組みを振り返る ・被服製作に真摯に取り組む姿勢を身に付ける
評価方法	①被服の構成、被服材料の種類や特徴について理解している ②被服製作に必要な知識や技術を理解している	③被服製作に対し、適切な被服材料が選択でき、着装目的を考え表現できる	④計画を立て、実施し取り組みを振り返ることができる ⑤被服製作に真摯に取り組む、自主的な作業や準備ができる

担当者からのメッセージ	この科目は、2年間を通して、より高度な被服の構成や被服材料の種類や特徴を理解し、着用目的に適した被服材料の選択や着装などに関する知識や技術を活用し、主体的な衣生活ができるようになることを目指します。 衣服の多様性について理解を深め、衣服製作を通して知識と技術を身に付け、自らの衣服について関心を高め、豊かな衣生活の実現を目指していけるよう自ら学び創造していける力を身に付けていきます。
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
2	4	3 章 洋服の製作 2 節 製作例 1. シャツカラーのブラウス	評価方法①②【作品提出】 評価方法③【被服材料の選択、試着、創造性豊かな作品の表現】 評価方法④【被服製作に向けた計画、被服製作過程の記録、感想及び作業】 評価方法⑤【被服製作過程に対する自主的な作業】
	5	① 採寸 ② 型紙づくり ③ 裁断・しるし付け ④ 衿の製作 ⑤ 縫い代にロックミシンをかける ⑥ 肩を縫う	
	6	⑦ 衿付け ⑧ 袖付け ⑨ 脇縫い ⑩ 脇縫い	
	7	⑪ 裾縫い ⑫ 袖つけ ⑬ ボタン付け ⑭ 仕上げ	
	(8)	2. ギャザースカート製作 (サーキュラースカート)	
	9	① 採寸 ② 型紙づくり ③ 裁断・しるし付け ④ 脇を縫う(ロックが必要な場合はかける) ⑤ 裾・ウエストを縫う ⑥ ゴムを通す ⑦ 仕上げ	
	10	3. ワンピース製作(ジャンパースカート)	
	11	① 採寸 ② 型紙づくり ③ 裁断・しるし付け ④ 縫い代のロックミシン ⑤ 肩を縫う ⑥ 衿ぐり・袖ぐりにバイアステープまたは見返しを縫いつける ⑦ 脇を縫う ⑧ 裾を縫う ⑨ 仕上げ *ポケットを付ける場合は⑤の前に縫う	
	12		
	3	<自由製作> ・3年間の被服に関する授業で得た知識と技術を用いて製作する。	
	1		評価方法①②【作品提出】 評価方法③【被服材料の選択・創造性豊かな作品の表現】 評価方法④【被服製作に向けた計画・被服製作過程の記録・感想及び作業】 評価方法⑤【被服製作過程に対する自主的な作業】